

## 経営比較分析表（令和4年度決算）

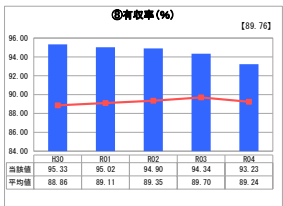
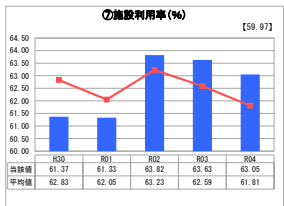
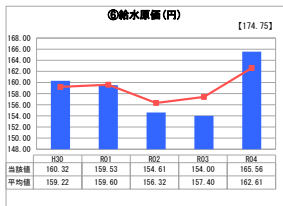
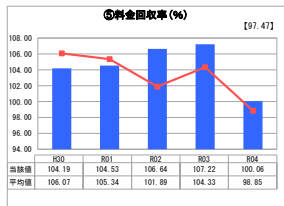
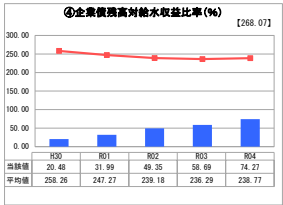
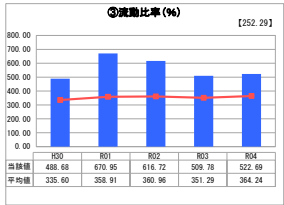
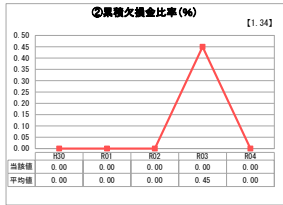
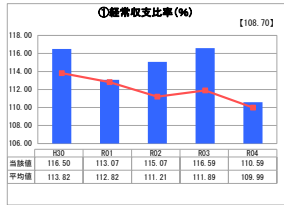
千葉県 我孫子市

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末梢給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本補償比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり要給料金(円)	
-	89.31	93.68	2,695	

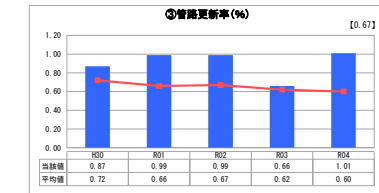
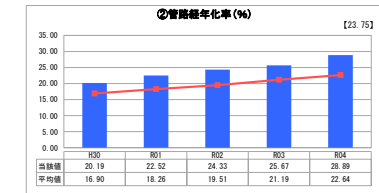
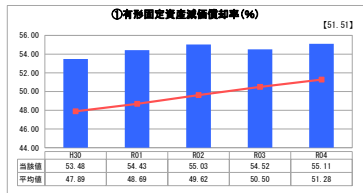
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
130,964	43.15	3,035.09
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
122,676	43.51	2,819.49

グラフ凡例
■ 当団体の値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和4年度全国平均

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況



### 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、⑤料金回収率  
100%以上を維持し、かつ、全国及び類似団体平均を上回り、高い健全性を示しています。ただし、これまで高まっていた水需要が次第に落ちつきつつあり、今後給水収益のさらなる減少も見込まれることから引き続き注視していきます。

②累積欠損金比率  
累積欠損金は生じておらず、0%を維持しています。

③流動比率、④企業債残高対給水収益比率  
全国及び類似団体平均と比べ、③は上回り、④は下回っており、短期・長期ともに支払能力は問題ありませんが、今後老朽化した施設の更新等に多額の費用を要し、企業債の借入も増加していくことが見込まれます。

⑥給水原価  
電気料金等の高騰により、経常費用が増加したことや、水需要が落ちつきつつあることに伴う有収水量の減少により、全国及び類似団体平均を上回りました。今後、業務の効率化・運営コストの削減や、自己水源と受水量の割合の見直し等により給水原価の低減に努めていきます。

⑦施設利用率  
配水量の増加により全国及び類似団体平均を上回っています。引き続き適切な施設規模を維持していきます。

⑧有収率  
全国及び類似団体平均を上回っていますが、

#### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
計画的な修繕を行い、施設の長寿命化を図っていることから全国及び類似団体平均を上回っており、依然として施設の更新需要は高くなっています。

③管路更新率  
全国及び類似団体平均を上回っていますが、管路経年化率は依然として高いため、今後も計画的に管路の更新を実施していきます。

今後増大する施設の更新需要に備え、平成30年度にアセットマネジメントの再評価等を行い策定した「我孫子市水道事業基本計画」に基づいて、計画的に事業を進めていきます。

#### 全体総括

今後さらに有収水量の減少が見込まれることや、浄水施設・管路の更新需要が高くなっており、本市水道事業を取り巻く経営状況は一層の厳しさを増すこととなります。

将来の事業継続に向け、水道サービスの持続性を確保するため、包括業務委託等による外部委託の活用による拡大等を図り、費用の削減や企業債等の活用により更なる業務の効率化・運営コストの削減に努めていきます。